

高圧ガス容器バルブ設計・製造基準 KHKS 0124 (2014)の見直しについて

1. 基準の趣旨

KHKS 0124は、高圧ガス容器用バルブの国際規格ISO 10297を基本として、圧縮ガス、液化ガス及び圧縮アセチレンガス（液化石油ガス用を除く。）を充填する容器に装置されるバルブの設計、製造及びプロトタイプ試験の方法等を定めた基準であり、平成16年に制定されたものである。その後、平成21年及び平成26年に改正がされ、最終改正から4年が経過したため、定期的な見直しを行うものである。

2. 前回改正の主な内容

- (1) 本基準で引用する規格の最新版の適用
- (2) 基準の編集方法について日本工業規格（JIS Z 8301）に準拠
- (3) 誤字・脱字の訂正

3. 改正要望

本基準の見直しにあたって、関係団体に改正要望の調査を行ったところ、資料21-6-2のとおり日本高圧ガス容器バルブ工業会（JGVA）より、参考としているISO 10297に改正があったため、ISO10297の最新版(2014年版)に整合させるべきとの改正要望があった。

4. 見直しの方針（案）

今回の見直しについては、JGVAからの改正要望に対応し改正することとしたい。ただし、ISO 10297が大幅に改正されたことに伴い、設計・製造の基準、プロトタイプ試験等の改正内容を精査する必要があるため、JGVAにISO 10297の改正内容及び改正要望に係る根拠を明確にするよう依頼し、来年度を目処に本基準を改正することとしたい。なお、改正案は次回の委員会で提示することとする。